

日本学生支援機構

給付 貸与 奨学金 早わかりガイド

予約採用

2022年度進学予定の皆さんへ

日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は国が実施しており、原則返還不要の給付奨学金と卒業後返還する貸与奨学金があります。このガイドで、それぞれの奨学金の概要を説明します。



早わかりガイド 目次



役に立つおすすめツール.....	3 ページ
奨学金の申込みから奨学生に採用されるまで	4 ページ
奨学金の種類	5 ページ
給付奨学金とは?	6 ページ
貸与奨学金とは?	8 ページ
貸与奨学金の返還	10 ページ
理解度チェック表	12 ページ

奨学金は、あなたの進学をサポートする制度です。

- この冊子では、日本学生支援機構（JASSO）の扱う各種奨学金の概要を説明していきます。
- この冊子を読んで条件に合う奨学金を確認し、しっかりと勉学に励みましょう。
- 条件に合う奨学金が決まったら、詳細を「給付奨学金案内」「貸与奨学金案内」で確認しましょう。

役に立つおすすめツール



Q.どの奨学金が対象になるかな？
進学したらお金ってどのくらい必要なんだろう？

A 「進学資金シミュレーター」を使えば、どの奨学金の対象になるかシミュレーションができます。
こちらを使って確認してみましょう！



<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>



Q.奨学金の返還って、どうやって返すのかな？
返還する額とか、返還にかかる期間とかが知りたい！

A. 「奨学金貸与・返還シミュレーター」を使えば、奨学金の種類、貸与月額、利率などさまざまな条件で、将来の返還額や返還回数をシミュレーションすることができます。
申込みの前に必ず試算してから計画を立てましょう。



奨学金の申込みから奨学生に採用されるまで（予約採用）

進学前

春～ 高等学校等から申込関係書類を受け取り



春～夏 申込み手続き

- ①インターネットで申込み
- ②マイナンバーを JASSO に直接提出（郵送）
- ③学校に申込書類を提出

申込み期限については、必ず学校に確認してください。

秋～冬「採用候補者決定通知」の交付

進学後

春～ 「進学届」提出

- ①「採用候補者決定通知」を進学先の学校に提出
- ②インターネットで進学届を JASSO に提出



奨学生として採用・通知

奨学金の振込開始

（参考）在学中の手続き

毎年数回 在籍報告（給付奨学金のみ）

毎年秋 支給額の見直し（給付奨学金のみ）

毎年冬 「奨学金継続願」の提出



奨学金にはどんな種類があるの？

原則として返さなくていい**給付奨学金**と、返す必要がある**貸与奨学金**があります。

奨学金の額は、あなたの進学先や通学形態(自宅・自宅外)など様々な条件で異なります。

給付奨学金の金額は6ページ、貸与奨学金の金額は8ページを参照してください。

奨学金の種類		返還の必要性	利子	振込頻度
給付奨学金		返還不要	—	毎月1回
貸与奨学金	第一種奨学金	返還が必要	利子なし	毎月1回
	第二種奨学金		利子あり	毎月1回
	入学時特別増額貸与奨学金			初回振込時に1回限り

→詳細は6・8ページ

奨学金を利用できる進学先は？

日本国内の**大学・短期大学・専修学校（専門課程）**が対象です。（※1）

学校の種別（課程）	給付奨学金	貸与奨学金
大学（学部）・短期大学	国又は地方公共団体より給付奨学金の対象となることの確認を受けた学校が対象です。下記URLをご参照ください。（※2）	対象です
専修学校（専門課程）		対象です（※3） ※JASSOの奨学金の対象ではない学校・学科もあります。

※1 高等専門学校第4学年に編入学する場合も対象です。（給付奨学金、貸与奨学金とも）

※2 給付奨学金の対象となる確認を受けた学校の一覧（文部科学省ホームページ）

https://www.mext.go.jp/kyufu/support_tg.htm

※3 貸与奨学金の専修学校（専門課程）の対象となる学校の一覧（機構ホームページ）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/kijun/yoyaku/senshu/gakkalist.html>



申込みをしたい！

進学する前年度に、在籍する**高等学校等より申込関係書類を受取り**、申込み手続きを行います。（予約採用）

奨学金の申込みには**本人および生計維持者（父母）のマイナンバーの提出が必要**となります。

詳しい申込手続きについては、
「申込みのてびき」を参照してください。





だれが申し込めるの？

2022年度に大学等へ進学する希望を持っていて、次の（１）又は（２）のいずれかに該当する人が申し込めます。

- （１） 2022年3月に高等学校等（本科）を卒業予定の人
- （２） 高等学校等（本科）を卒業後2年以内の人

- ※ 2021年の秋季に卒業予定の人も対象になります。
- ※ 高卒認定試験合格（見込）者も対象となる場合があります。詳細は、JASSOのホームページで案内します。
- ※ 外国籍の人は、在留資格により申込資格に制限があります。

→ 「給付奨学金案内」 4 ページ

採用の基準は？

学力・家計（収入・資産）の両方の基準を満たす人が対象になります。

学力基準 次の①・②のいずれかを満たす人

- ① 高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均値が、5段階評価で**3.5以上**
- ② ①に該当しない場合、将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における**学修意欲を有すること**

家計基準 次の①・②の両方を満たす人

- ① **収入基準**・・・申込者（生徒）・生計維持者（父母等）の所得等に基づき住民税非課税又はそれに準ずる世帯と認められること（次ページの目安参照）
- ② **資産基準**・・・申込者（生徒）・生計維持者（父母）の資産の合計が一定額未満^(※)
※ 生計維持者が1人の場合：1,250万円、生計維持者が2人の場合：2,000万円

いくら支給されるの？

奨学金の支給額は、世帯の所得に基づいてⅠ～Ⅲの区分に分かれます。

さらに、あなたの進学先、通学形態によって定められている下表の金額（月額）が、原則毎月1回振り込まれます。

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 (満額)	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円
第Ⅱ区分 (満額の2/3)	19,500円	44,500円	25,600円	50,600円
第Ⅲ区分 (満額の1/3)	9,800円	22,300円	12,800円	25,300円

- ※ 生活保護世帯で生計維持者と同居する人・児童養護施設等から通学する人、高等専門学校4～5年生、通信教育課程の人は、上表の金額と異なります。
- ※ 「自宅外通学」を選択する場合でも初めは自宅通学の月額が振り込まれます。「自宅外通学」であることの証明書類を提出する必要があるため、不備のない提出が確認できた後、自宅外通学の月額が適用されます。

→ 「給付奨学金案内」 5～6・8 ページ

家計基準の収入・所得の上限額の目安

(例) 会社員

(例) 自営業

世帯人数	想定する世帯構成	給与所得者の世帯 (年間の収入金額)			給与所得者以外の世帯 (年間の所得金額)		
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
2人世帯	本人、親	207万円	298万円	373万円	125万円	176万円	230万円
3人世帯	本人、親、中学生	221万円	298万円	373万円	137万円	178万円	234万円
4人世帯	本人、親①、親② (無収入)、中学生	271万円	303万円	378万円	172万円	191万円	255万円

※ 表中の数字はあくまで目安です。世帯構成等により上限額は異なります。

→ 「給付奨学金案内」 6ページ

家計基準を満たすのか知りたい！

JASSOは、マイナンバーを利用して収集した収入に関する情報により、家計基準の審査を行います。

家計基準に該当するか、おおよその目安は「進学資金シミュレーター」により確認することができます。

「進学資金シミュレーター」

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

※シミュレーターによる試算結果は、実際に申し込んだ場合の審査結果とは異なることがありますので、参考としてご覧ください。



貸与奨学金と何が違うの？

○原則として返還不要な奨学金です。

ただし、給付奨学金は、意欲と能力のある学生に勉学に励んでもらうために支給するものですので、学業成績が基準を下回る場合には、奨学金の支給が打ち切られることがあります。

○定期的に在籍報告を行う必要があります。

給付奨学生が学校に在籍していることを確認するため、年に数回、在籍報告の手続きを行います。手続きが行われない場合は、給付奨学金の振込が停止されます。

○毎年支給額の見直しがあります。

進学後も、毎年秋に家計状況を確認し、支給額の区分が見直されます。(支給の対象外となることもあります。)

○進学先に条件があります。

給付奨学金を利用できる進学先は、国または地方公共団体より給付奨学金の対象となることの確認を受けた学校が対象です。

給付奨学金の対象となる確認を受けた学校の一覧 (文部科学省ホームページ)



○授業料等の減免が受けられます。

給付奨学金の支給を受ける奨学生は、授業料・入学金の減免も同時に受けることができます。別途、進学先の学校で手続きが必要ですので、忘れずに進学先の学校に問い合わせてください。



だれが申し込めるの？

2022年度に大学等へ進学する希望を持っていて、次の（１）又は（２）のいずれかに該当する人が申し込めます。

（１） 2022年3月に高等学校等（本科）を卒業予定の人

（２） 高等学校等（本科）を卒業後2年以内の人

※ 2021年の秋季に卒業予定の人でも対象になります。

※ 高卒認定試験合格（見込）者も対象となる場合があります。詳細は、JASSOのホームページで案内します。

※ 外国籍の人は、在留資格により申込資格に制限があります。

→「貸与奨学金案内」5 ページ

採用の基準は？

学力・家計の両方の基準を満たす人が対象になります。

学力基準

第一種 高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均値が5段階評価で**3.5以上**

第二種 高等学校等における申込時までの全履修科目の学習成績が平均水準以上である等

※ 経済的に極めて困難な方には、**第一種奨学金の学力基準の緩和**があります（次ページ参照）。

家計基準

生計維持者（父母）の年収が収入基準以下である（次ページの目安参照）

いくら借りられるの？

あなたの進学先、通学形態によって定められている下表の金額から選択し、原則毎月1回、卒業まで振り込まれます。

奨学金の種類等		進学先		大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
		国公立		私立		国公立		私立			
		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学		
第一種奨学金	最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円		
	最高月額以外の月額				50,000円				50,000円		
			40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円		
			30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円		
第二種奨学金											
入学時特別増額貸与奨学金											

※ 「最高月額以外の月額」は10,000円単位で選択できます。

※ **給付奨学金と併せて第一種奨学金を利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が調整**されます。

※ 第一種奨学金の「最高月額」は併用貸与の家計基準（次ページ参照）を満たしている場合に選択できます。

※ 入学時特別増額貸与奨学金のみの単独利用はできません。（入学後、初回1回のみのお奨学金です）

→「貸与奨学金案内」6～7・9 ページ

家計基準の収入・所得の上限額の目安

(例) 会社員

(例) 自営業

世帯人数	想定する世帯構成	給与所得の世帯 (年間の収入金額)			給与所得以外の世帯 (年間の所得金額)		
		第一種	第二種	併用貸与	第一種	第二種	併用貸与
2人世帯	本人、親	779万円	1,036万円	707万円	371万円	628万円	321万円
3人世帯	本人、親、中学生	657万円	1,009万円	599万円	286万円	601万円	245万円
4人世帯	本人、親①、親② (無収入)、中学生	747万円	1,100万円	686万円	349万円	692万円	306万円

※ 表中の数字はあくまで目安です。上記の目安を上回っていても、特別控除等により基準を満たす可能性があります。

※ 「併用貸与」とは、第一種奨学金と第二種奨学金を併せて利用することです。

※ 上記の目安とは別に、**第一種奨学金の家計基準の特例**（下記参照）があります。

→「貸与奨学金案内」7ページ

第一種奨学金の学力基準の緩和と家計基準の特例

次の条件に該当する方は、**第一種奨学金の学力基準及び家計基準を満たすもの**として扱います。

次の①～③のいずれかに該当し、かつ、**大学等における学修に意欲がある人**

- ① 住民税非課税（市区町村民税所得割が0円）世帯の人
- ② 生活保護世帯の人
- ③ 社会的養護を必要とする人（児童養護施設在籍者等）

家計基準を満たすのか知りたい！

JASSOは、**マイナンバー**を利用して収集した収入に関する情報により、家計基準の審査を行います。

家計基準に該当するか、おおよその目安は「**進学資金シミュレーター**」により確認することができます。

「進学資金シミュレーター」

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

※シミュレーターによる試算結果は、実際に申し込んだ場合の審査結果とは異なることがありますので、参考としてご覧ください。



給付奨学金と何が違うの？

○返す必要のある奨学金です。

貸与奨学金は、「もらう」ものではなくあなたが「借りる」ものです。
あなた本人が、将来、返還していく義務を負います。

○保証を付ける必要があります。

卒業後、返還することとなる貸与奨学金を利用する場合、保証を付ける必要があります。
機関保証又は人的保証（10ページ参照）のいずれかを選択する必要があります。

○貸与中も月額を変更できます。

貸与を受けている途中で月額を変更することもできます。

返す時の負担などを考え、学校生活に必要な適切な金額を選択しましょう。

（第一種奨学金は、通学形態や併せて給付奨学金を利用している等の状況により、一部制限がある場合があります。）



貸与奨学金の返還【ホームページ：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/henkan/index.html>】

いつからいくらずつ返すの？

貸与が終わって（卒業して）7か月目（**3月卒業の場合、同年10月**）から口座引き落としにより返還します。
毎月の返還額・返還期間は、選択した返還方式等により異なります。

所得連動返還方式

返す月額を毎年見直し

所得に応じた月額で返還

例
年収：200万円 → 月額：約 **4,700円**
年収：400万円 → 月額：約 **13,500円**

※年収と返還月額は目安です。
※返還年数は年収によります。返還総額は定額返還方式と同じです。

特徴
所得があまり高くない時でも、無理のない月額で返還できます。
所得が高いと、返還が早く終わります。

定額返還方式

返還完了まで返す月額が同じ

借りた総額に応じた月額で返還

例
5万円を4年間（240万円）借りた場合
→ 月額：約 **13,333円**（15年間）

※第二種奨学金は定額返還方式になります。

特徴
最後まで同月額で返還するので、返還の計画がたてやすくなります。

第一種奨学金のみ選択できます。

毎月の返還額は、前年の所得に連動して定まり、毎年見直します。
返還期間は毎月の返還額により決まります。

所得連動返還方式を選択した人以外が対象です。

貸与総額（いくら借りたか）によって返還期間が定まり（最長 20 年）、
返還期間によって毎月の返還額が決まります。

→ 「貸与奨学金案内」 16 ページ

保証を付ける必要があるの？

貸与奨学金には次のどちらかの保証を付ける必要があります。

機関保証

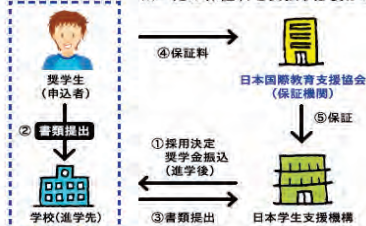
保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）の連帯保証を受けます。
保証料の支払いが必要となります（毎月振込む奨学金から天引きされます）。

人的保証

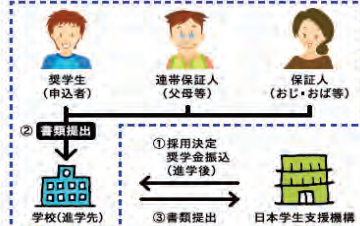
条件に合う**連帯保証人**（父又は母）、**保証人**（おじ又はおば等）を依頼し、その人による保証を受けます。連帯保証人は、奨学金の返還について本人と同等の責任を負います。

機関保証制度（保証機関に連帯保証を依頼）

※一定の保証料を支払う必要があります。



人的保証制度（連帯保証人と保証人が必要）



→ 「貸与奨学金案内」 13～14 ページ

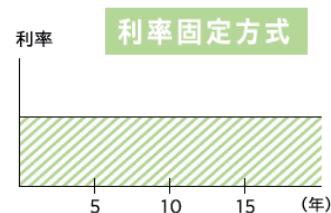
利子はどれくらいなの？

第二種奨学金・入学時特別増額貸与奨学金の利子は、申込時に選択した「**利率の算定方法**」により、貸与が終わるときに決定します。

利率固定方式

貸与が終わった時に決定した利率が、返還完了まで適用されます。

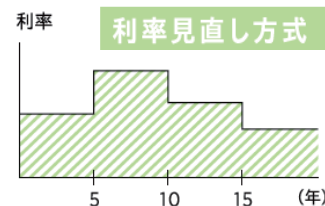
(参考) 令和3年1月に貸与が終わった人の利率は、年0.233%です。



利率見直し方式

貸与が終わった時に決定した利率を、おおむね5年ごとに見直します。

(参考) 令和3年1月に貸与が終わった人の利率は、年0.002%です。



→「貸与奨学金案内」15 ページ

返還が難しい場合はどうしたらいいの？

返還中に、病気や失業等で返還が難しくなった人のための救済制度があります。

※ ただし、収入等の基準を満たした場合に限りです。

減額返還

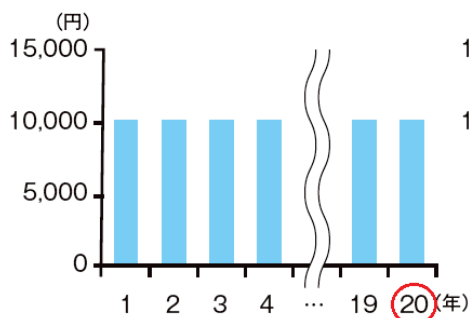
一定期間、毎月の返還額を1/2 (1/3) に減らすことができます。その分返還期間は長くなりますが、返還予定総額は変わりません (利子は増えません)。

返還期限猶予

一定期間、毎月の返還を先送りにすることができます。その分返還終了が遅くなりますが、返還予定総額は変わりません (利子は増えません)。

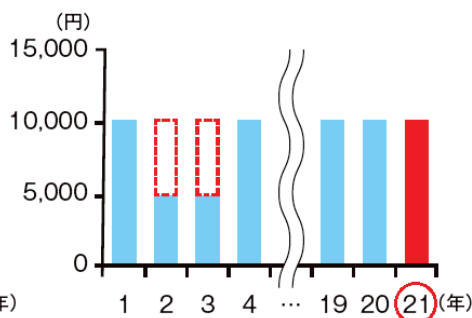
当初の約束

(毎月1万円ずつ20年間で返還)



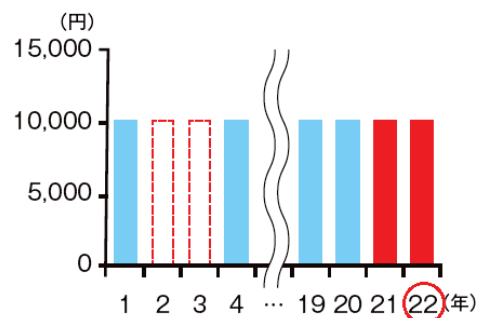
減額返還を利用した場合

(2年目から2年間利用)



返還期限猶予を利用した場合

(2年目から2年間利用)



→「貸与奨学金案内」17 ページ

奨学金理解度チェック

確認してみよう！！

- 給付奨学金と貸与奨学金の違いがわかった

チェックがつかなかった人は5ページへ！

- 奨学金を申し込むために、進学前に必要な手続きがわかった

チェックがつかなかった人は4ページへ！

- 希望する進学先が給付奨学金の対象か確認できた

チェックがつかなかった人は5ページへ！

- 進学資金シミュレーターを使ってみた

チェックがつかなかった人は3ページへ！

- 奨学金貸与・返還シミュレーションを使ってみた

チェックがつかなかった人は3ページへ！

- 自分が対象になりそうな奨学金がわかった

チェックがつかなかった人は3ページへ！

- 貸与奨学金の返還方法を理解できた

チェックがつかなかった人は10ページへ！



奨学金について動画で知ろう！

高等学校等を通して奨学金の予約を申し込む方向けに、奨学金の制度の概要や申込み手続き等の内容について、動画で案内していますので、ご覧ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/movie.html>



このガイドの記載内容の詳細は、「給付奨学金案内」「貸与奨学金案内」に記載しています。

その他日本学生支援機構奨学金制度の詳細については、ホームページをご覧ください。

日本学生支援機構 ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

奨 学 金

検 索



日本学生支援機構 奨学金相談センター



0570-666-301 (ナビダイヤル・全国共通)

月曜日～金曜日 9時00分～20時00分 (土日祝日・年末年始を除く)

※高等学校卒業程度認定試験合格者・科目合格者・出願者の方が「予約採用」に申し込む場合は、ホームページを参照のうえ、JASSOにお問い合わせください。